

# 長野便教会 会報

ひとつ拾えば ひとつだけきれいになる

令和2年12月19日(土) 第99号

## 1 三昧清掃、ここにあり

写真が前号と同じなので、「あれ？」と思った方もおられるかもしれません。前号は佐久穂町立佐久穂小学校、今号は同町立佐久穂中学校と、小中一貫校から2号続けてのご寄稿です。

「三昧清掃」との出会いは、11年前の平成21年でした。初めて聞いたとき、「そんなお掃除があるのか！」と衝撃を受けました。長野県内でもオンリーワンの存在です。その学校は、佐久穂町立佐久中学校。佐久穂町は、佐久町とお隣の八千穂村が15年前に合併してできた新しい町です。それに伴って、佐久町の佐久中学校と八千穂村の八千穂中学校も統合することになり、今から5年前の平成27年4月に「佐久穂中学校」として新たなスタートを切りました。この佐久穂中の清掃を、佐久中時代から8年間ずっとご指導されてきた先生が、今回ご寄稿いただいた山岸真路先生です。佐久穂中は第2回清掃サミットに初参加以来、11年連続参加の常連校ですが、その裏にどれほどのご苦労があったのか、私は今回初めて知りました。

### 全校全員「三昧清掃」をめざして生徒と共に 佐久穂中学校 教諭・山岸 真路

8年前、佐久中学校に転任が決まり、ご挨拶にうかがった時のことです。校長室の壁には新聞記事を拡大したものでしょうか、男子生徒が一心不乱に小便器を磨く姿が張り出されていました。「すごい学校だなあ」と思ったことを今でも覚えています。その学校で清掃主任を仰せつかった時はプレッシャーで一杯でした。赴任した年の12月に新設された今の校舎に移転し、旧校舎は壊されることになっていたもので、なくなってしまう校舎に「感謝を込めて床を磨こう」と全校が一丸となって清掃に取り組みました。その時の環境委員長・副委員長からは「清掃サミット」への参加をはじめ、多くのことを学ばせてもらいました。

平成27年に八千穂中と統合するまでの1年と3ヶ月は、佐久中生のみで新校舎を使用しました。この校舎は未来の佐久穂中生から借りているもの、統合して八千穂中の生徒や先生方がこの校舎に来るまで、とにかくきれいに保とうと必死で清掃に取り組みました。清掃方法も、建築業者からは「モップ・乾拭き」を推奨されたのですが、それでは「三昧清掃」からほど遠くなってしまうということで、固く絞った雑巾で床を磨きました。統合への準備の中で一番苦労したことは、互いの校風のすり合わせです。八千穂中の環境委員長と佐久中の環境委員長で話し合いを重ね、佐久中の「三昧清掃」を佐久穂中でも引き継いで行くことに決めました。また、そのために「参加者全員が達成感をもって帰って来られる『清掃サミット』に毎年参加しよう」ということが決まりました。この統合に向けての話し合いは、今の佐久穂中のお掃除の基礎となる大きなターニングポイントだったと思います。

統合後は、「無言清掃」や「三昧清掃」という校風がなかった八千穂中の生徒にどのように「三昧清掃」の意味を伝え、心をひとつにして清掃にとりくんでいくかが課題でしたが、2校の環境委員長の努力によって少しずつ浸透させていくことができました。統合して5年間、様々な改革も行いました。清掃5分前に「黙想」を取り入れたり、三昧清掃ができている分担当場所を「発見☆三昧清掃」として表彰し、全校に紹介する活動を取り入れたりすることなど、毎年の委員長が工夫して伝統を引き継いでいってくれました。

しかし、このコロナ禍で今年度の「清掃サミット」は中止となり、委員長はじめ参加を希望していた役員は意気消沈でした。文化祭の委員会発表で何を発表するのか…悩みましたが、夏休み中に3年生の役員8名で「佐久穂中清掃サミット」を行いました。全く同じ方法ではありませんが、2時間以上便器と向き合い、磨きました。その様子は後日、文化祭で発表しました。当日は歴代環境委員長とオンラインでの交流もと考えていましたが、残念なことに日程が合わずに実現できませんでした。それでも十分に達成感を得ることができた一日となりました。この8年間の経験を糧に、これからも「清掃サミット」で学んだ精神を浸透させて、全校全員で「三昧清掃」をめざして生徒と共に歩んでいきたいと思っています。

この原稿を書くときに、山岸先生の頭の中にはこの8年間が走馬燈のように駆け巡っていたことでしょう。この紙幅では書き表せない数々のドラマやエピソードがあったことと思います。私は「この校舎は未来の佐久穂中生から借りているもの」という言葉に、ハッとしました。これは佐久穂中の新校舎でなくとも、どの学校でも実は同じことですよね。この発想ができれば、

小中一貫校で、佐久穂小学校とつながる大校舎



佐久穂町立佐久穂中学校

自分たちが今どんなお掃除をしたらいいのか、自ずと答えが導き出せるように思います。

今夏の清掃サミット中止は、私どもにとっても断腸の思いでした。でも独自に「佐久穂中清掃サミット」を計画し、実行していただいた山岸先生と佐久穂中の皆さんの行動力には脱帽です。その成果を文化祭で発表したときの原稿もいただいていますので、以下にご紹介します。

## なぜか心が大きくなった感じがした

佐久穂中学校3年・坂口 智基

僕にとっては初めての清掃サミットでした。僕たち生徒会役員有志8名は、8月13日の朝8時に集まり3時間くらいかけて職員室前トイレを掃除しました。

普段の掃除ではやったことのない、便器の裏や小便器の中の皿も特殊なスポンジやヤスリを使って掃除しました。最初は小便器の中の黄ばみなどを本当にキレイにできるのか不安でしたが、時間をかけてこすることで少しずつキレイになり、最後には白く光り輝いているように見え、達成感がありました。小便器の下の床も汚くて、雑巾でしっかりふきとりました。次に大便器を掃除しました。大便器は水あかがなかなか取れずに苦労しましたが、スポンジやクレンザーを使いキレイにしました。

僕は3時間も掃除をしたことがなかったので疲れましたが、やりきった感はずごかったです。そしてなぜか心が大きくなった感じがしました。この気持ちを忘れず、毎日の清掃にも取り組んでいきたいです。

## 清掃で汗をかいたのは初めてです

佐久穂中学校3年・青木 姫由(好副会長)

「清掃サミット」と聞いて、私にはあまり良いイメージはありませんでした。しかし、今回参加してみて、そのイメージは180度変わりました。

最初は直接手で便器を磨くことに抵抗感がありました。でもやっているうちに、自分から汚れを見つけ、そこをもっときれいにしたいという気持ちが強くなっていきました。休憩の時間になると「もうそんな時間か」と、時間も忘れてしまうほど、のめり込んで清掃することができました。私は清掃で汗をかいたのは初めてです。それだけ集中して汚れをしっかりとってピカピカになった便器や床を見ると、とてもうれしくなりました。今年はコロナウィルスの影響で色々できないことがありましたが、そんな中でも自分のできる限りしっかりと三昧清掃ができたので、日々の清掃にも学んだことを活かしたいです。

## やってよかった佐久穂中清掃サミット

佐久穂中学校3年・須田 陸斗(環境委員長)

例年なら7月末に行われる長野県中学校清掃サミットが今年は新型コロナウィルスのために中止になってしまいました。僕は昨年の長野市の更北中で行われた清掃サミットに参加し多くのことを学べたので、今年も参加することを楽しみにしていました。なので中止と聞いた時は本当に残念な気持ちでした。でも、佐久穂中清掃サミットをやる、自分の学校のトイレをピカピカにしようという企画を環境委員会の山岸先生に提案されたときはうれしかったです。道具や方法は少し異なりましたが、何時間も汚れと向き合って磨いていくのは昨年のサミットと同じでした。便器の中に手を入れて清掃することによって普段気づかない汚れを取ることができ、達成感がありました。この経験を活かして、来年はぜひ佐久穂中学校を開催校にして清掃サミットをやってほしいと思いました。

3人ともしっかりと自分自身と向き合い、「三昧」な時間を過ごせたことが伝わってきます。そして、須田君からは「来年は佐久穂中で清掃サミットを」という大変重大なご提案をいただきました。そんなことを言うだけで感激です！11年も連続で参加していただいている佐久穂中ですから、いつかは開催校になって、他校の生徒さんを迎えていただきたいということは、以前からずっと考えていました。それが実現したとしても須田君はもう卒業していますが、ぜひ参加してくださいね。

## 2 お知らせ

○小布施掃除に学ぶ会・月例会→毎月第2日曜朝6時～8時30分(5:45にはご集合ください)

長野市周辺の北信エリアの感染者数の増加に伴い、当面の活動を中止しています。

○第13回長野県中学校清掃サミット・オンラインの部→令和3年2月20日(土)午前9時30分～11時

「午後の意見交換の部分だけでも、オンラインで開催できないか？」というご要望にお応えして、清掃サミット初の「冬の陣」です。この機会に他校のお掃除の様子を情報交換することで、自分の学校のお掃除をさらに一步前進させませんか？ご参加をお待ちしています。

今年の9月に出版された山元加津子先生の「リト」。各方面で大きな反響を呼んでいて、早くも8刷とのこと。私も近い皆さまに、「ぜひ読んでください」と紹介しまくってます。この本に出てくる女の子・オリーのママが作るパンは、長野県在住の森かおりさんの作るパンがモデルです。「森さんのパン工房は、長野のどこにあるんですか？」と山元先生におたずねしたところ、なんと「佐久穂町ですよ」とのお返事。サムシング・グレート(トイレの神様?)の見えざる手にビックリです！

激動の令和2年が暮れていきます。出口の見えない日々が続きますが、「どんなことも、いつかい日のためにある」のだと、リトは教えてくれています。皆さま、よいお年をお迎えください。

〒383-0021 中野市西2-9-2 長野便教会事務局・太田 智明(山ノ内町立南小学校教諭)

携帯電話・090-2238-2934 Eメール・otato2005@yahoo.co.jp

小布施掃除に学ぶ会HP・<http://obuse-souji.com/>